

## N0.32 ハンドボール

# スローオフチーム 鹿児島市

5

日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 七  
(16名用)

A	鹿児島県	熊本県	B
合計	29	26	合計

## A) 痘痘

Z<sub>IR</sub> TC

周易

大会名	平成27年度 第70回国民体育大会ハンドボール競技					
平成27年	9月 30日(水) 場所 和歌山市立河南総合体育馆					
種別	成年	男・女	回数	第 回戦	準決	決 リーグ

クイムキーバー 川原 錦生  
サイン  
審判員 I 神野 敏  
サイン  
TD 1 桑原 審  
サイン

計 131 12 14 96  
スコアラー 道勝 佐藤  
サイン  
審判員 2 森城 明正  
サイン  
TD 2 佐川 二三

卷之三

## ハンドボールNO.33

第70回国民体育大会 紀の国わかやま国体 ハンドボール競技会  
戦評報告書

競技日	平成27年 9月30日	試合番号	C一セ
種別・回戦	成年女子 準決勝	会場	河南総合体育館

鹿児島	熊本		得点チェック欄	
	前半	12	前半	□
29	後半	11	後半	□
	第1延長 前半	2	第1延長	□
	第1延長 後半	1	第2延長	□
	第2延長 前半		7mTC	□
	第2延長 後半		合計点	□
	7mTC		記録主任確認	□

戦評	戦評委員氏名	社 凜太郎
<p>鹿児島のスローイングで試合が始まる。開始1分、熊本4番松尾のステップシュートで熊本が先制する。鹿児島も負けじと4番諸岡の突破から7mスローを獲得し、それを3番藤井がきっちり決めて同点に追いつく。その後、両キーパーの好セーブや堅いディフェンスにより両チーム思うように点が入らない展開が続く。15分辺りから鹿児島は4番諸岡、熊本は7番吉田を中心としたオフェンスにより両チーム徐々にシュートが決まり始める。取りつ取られつの一進一退の攻防が続き、13対12の鹿児島1点リードで前半終了。後半、両チーム1本ずつ逆速攻を決めて流れに乗るかと思われたが点差は開かない。鹿児島の10番川崎の退場により、数的有利になった熊本は5番勝連のサイドシュートにより逆転する。しかし、熊本4番松尾が3回目の退場により失格となる。それから鹿児島の連續得点があり点差が開くかと思われたが、熊本の堅いディフェンスがそれを阻止する。ラスト2分で鹿児島2番安倍の執念のシュートが決まり、2点差とするがクイックスタートから熊本3番末吉のシュートで1点差に戻す。ラスト10秒、熊本7番吉田が7mスローを入れギリギリのところで同点とし、延長に突入となる。延長前半1分、鹿児島キーパー12番伊地知が7mスローを止め、流れに乗った鹿児島が3連続得点で突き放す。熊本も食い下がるが、2点差で延長前半終了。延長後半も着実に鹿児島が点を重ね、29対26で鹿児島の勝利となった。</p>		

送信担当記録委員	中本 富基
----------	-------

